

季刊 ジャネット Ja-Net

No.28

2004年1月25日発行

● View from the Other Side	3
● あちこち日本語ご紹介[秋田県 横手市]	4
● あちこち日本語ご紹介[チェコ共和国 プラハ]	5
● 教材紹介	
『みんなの日本語初級 I 聴解タスク25』	6
『こどものほんご I 絵カード』	6
『みんなの日本語初級 I 漢字練習帳』	7
『Now You're Talking! Japanese Conversation for Beginners 日本語20時間』	7
● なんでも情報BOX	8

Ja-NetはJapanese Networkの略です。『にほんご』を通して編集室と読者の皆様を結ぶ情報誌にしたいと考えています。

スリーイーネットワーク

巻頭寄稿

日本語を必要とする幼児・児童の自立支援

◆ 広島大学大学院教育学研究科教授
縫部 義憲



日本語を必要とする幼児

まずは、初春のお慶びを申し上げます。私は縁あって附属幼稚園の園長を4年間勤めました。ここに韓国とマレーシアから来た留学生の子どもがいました。広島弁がべらべらでした。その流暢さの一端を紹介しますと、「園長のじじ（爺々）い！」「園長、何で髪が白いんや。」「園長先生、はよう（早く）食べんさい。」等々、まずは圧倒されました。幼児は驚くほどの早さで日本語を習得していきます。これが外国から来た幼児との最初の出会いでした。自他の区別がまだはっきりついていない幼児たちは、自分がうれしいときは人もうれしいだろうと勝手に感じてしまいます。自他の区別がはっきりしていないということは自他一体感がしっかり残っているということです。ですから、自分と人—日本人でも外国人でも—同じ接点が見つかるとうすぐに友達ができます。

保育所によっては80人位も外国から来た子どもが在園しているところもあります。保育者はその対応に慣れていないので戸惑いながらも、結構楽しんでおられます。子どもの世界では、保育者の指導の成果もあるのですが、悪いことをした子がいると、周りの子どもたちがすぐにたしなめたり、怒ったりします。どうにもならないときだけ、遠巻きに眺めていた保育者がさっと入りこんで、お互い相手の気持ちや考えを理解するように働きかけます。すなわち、保育者主導ではないのです。私など、日本語ができない学習者を見ると、あれもこれも教えてやらないといけないと思って、教師主導で教え込んでしまう傾向がありますが、これでは成人学習者なのに子ども扱いしていると批判されてしまいます。

子ども達から学ぶ

子ども達を観察していて気になることが3つありました。第1に、言葉の発達が遅い子が多いということです。4才児でも何人か日本語が理解できなくて困ったことがあります。多くの幼児は、人と話したり、人前で話したりするときにとっても恥ずかしがります。言葉を話すことに慣れていないのは、周囲の大人や子どもとのやり取りが元々少なくなっているからではないでしょうか。日本語の習得には他者とのやりとり（インターアクション）が基本です。

第2に、視線がなかなか合わないことです。「おはよう」と言って話しかけても、返事が返ってこないことがよくあります。目をすぐに逸らすのは照れくさいからでしょう。多分、周囲の大人とのやり取りが少ないからでしょう。日本人の文化結合症候群は不安神経症だと診断されているそうですが、視線不安がその1つに入っています。外国の方と話す時は、相手の目を見ながら話す習慣を小さい子どもの頃から身につける必要があります。

第3に、表情が乏しい子どもが多い。感情の表出が弱いのは自己抑圧をしているのでしょうか。これは専門的には感情のフィルターが高い（強い）と言います。これは言葉の発達を阻害します。私たちも、感情のフィルターを下げて、言葉と表情・感情・身体が一体となるような日本語練習をすることが必要です。

幼児は、安心して周囲の大人とのやりとりを楽しみながら言葉を習得していきます。安心できる雰囲気と、他者とのやりとりが十分保障されると、言語入力（日本語を聞くこと、読むこ



広島大学附属幼稚園もちつき大会にて

と)が活性化され、安心して言語出力(日本語で話すこと、書くこと)ができるようになります。幼児にとって、他者とのやりとりの場・機会とは「遊び」です。遊びとは、自己を開いてお互いの個性がぶつかり合う活動であり、生きることそのもののなのです。子ども同士は、遊びの中で相互交流を楽しみ、友達を作ったり、アイデンティティを確認したりします。それを可能にしてくれる1つの要素が日本語という言語なのです。子どもにとっては、そのために第2言語である日本語の習得はとても大切なのです。入国児童にとっても、日本語でのやり取りを経験している場合は、殆どが学校内だけのようです。家庭の周辺では、日本の子どもたちは塾に行ったり、おけいごごとをしたりして、余り遊ぶことはできません。だから、地域社会において外国から来た子どもたちが日本人との交流がもっと活発にできる場と機会を提供することが必要なのです。

グローバル教育の提唱

上述したのは日本国内における1つの教育問題ですが、国内外における重要な問題を「グローバルな問題(global issues)」と言います。それらはいくつかの範疇に分けられます。例えば、環境問題、人口問題、人種差別問題、食糧問題、宗教問題、教育問題、性差別問題、人権問題、言語問題などがあります。これらの諸問題の分類について、私は、世界の平和と幸福を希求してPEACEという頭文字語(範疇)を提案します。PはPoverty(貧しさ)、EはEnvironment(環境)、AはAssistance in need(援助)、CはCooperation(協同)とCommunication(言語での交流)、EはEducation(教育)です。

貧しさのために学校に行けない子どもは世界中にたくさんいます。最低限文化的な生活ができる程度の物質的な豊かさが自分らしく生きるためには必要です(→P)。21世紀初頭には世界の森林は6分の1になると予想されています。新潟県のある小学校では、学校の中に(小さい)森を作る計画を立てたら、地域社会が協力してくれ、地域社会が復活するとともに、毎日

森の中で水をやったり、花や木々と対話をするようになった子ども達の心が豊かになったそうです(→E)。外国から来た子ども達が学校生活に軟着陸するのを手助けするのが自立の援助ですが、それは生活日本語を習得し、学習日本語を学ぶことです(→A)。言語や文化など、多様な違いを持った子ども同士が協力し合いながら、お互い影響を受け合う関係を築くことが今求められています。競争によるのではなく、協同による学習の方が高い成果を挙げています(→1つ目のC)。さらに、日本語ができないと友達がなかなかできないのが事実であり、自分を開かないと友達ができにくいことも事実です(→2つ目のC)。小学校が義務教育ではない国から来日している子どもも大勢います。しかし、例えば、ブラジルから来ている日系人の親と子どもたちは、教育に対する関心は高く、80%位の人が大学に行かせたいと願っています。反面、様々な理由で不登校になっている子どもたちが増えています。豊かな教育を保障することは自己実現(自分の可能性を最大限に発達すること)には欠かせません(→E)。

これらの範疇に基づいて教材を作成し、日本語を学びながら世界の諸問題を理解します。日本語教室・ボランティア教室で日本語を学びながら、同時にこれらの問題を話し合ってみると、相互理解を深めながら日本語力が楽しく身につけられるのは本当に素晴らしいことです。これは「グローバル日本語教育(global education in Japanese)」と呼ばれます。これは、学校教育における日本語教育や地域社会における日本語教育などに広く導入することができます。平和を大切にする精神を育む日本語教育、世界中のいろいろな人達がお互い理解し合い、協力し合いながら、手を取り合って生きていく共生関係はこうして生まれてくるのではないのでしょうか。この私の初夢を読者の皆様と共有したいと思います。

入国児童のための日本語教育

A5判 320頁 2,800円

著者：縫部義憲

好評発売中



縫部義憲(ぬいべよしのり)

広島大学大学院教育学研究科教授

研究分野は日本語教育学。大学日本語教員養成課程研究協議会代表理事

主要著書：『日本語教育学入門』（歷々社）、『日本語授業学入門』（歷々社）、『心と心が触れ合う日本語授業の創造』（歷々社）、『入国児童のための日本語教育』（スリーエーネットワーク）、『日本語教師のための外国語教育学』（風間書房）、『多文化共生時代の日本語教育』（編著、歷々社）



このコラムでは 学習者の視点での話題をお届けします

VIEW FROM THE OTHER SIDE

ネパールの難聴者のために役に立ちたい-仙台で見つけた私の夢

ニータ・バタライ



ホストファミリーとの出会い

私は4歳の時、おたふくかぜで両方の耳が悪くなってしまったが聞こえないことに気づかずに成長した。家族は、私がしたいことすべてをするように私に勧めてくれた。大学を卒業し、ホテルで働いて結婚。その後、夫が日本で勉強することになり、3カ月の娘と1999年11月に仙台へ来た。

6カ月後に、近所に住んで、いろいろ生活を助けてくれていた義理の姉の家族がネパールに帰国してしまった。私達家族だけになり、もし何かが起こったら「どうするか」と心配だった。そのうち、私達は、父と母のような親切なホストファミリーに会うことができた。

2002年3月に、二番目の赤ん坊をネパールで生み、6月に再び二人の子どもを連れて日本へ戻った。それから一年後、保育園の入園について問題が生じた。

保育園に入園するには、両親は1日4時間以上の仕事をするか、勉強することが必要だ。しかし、私の日本語講座は2時間しかなかったので、その規則には十分ではなかった。私は、日本語の勉強をしながら仕事をしようと思ってアルバイトを探し始めたが、日本語ができないことと聴覚障害があることのためにどこもだめだった。それで、私は、手話を勉強するために(社)全日本難聴者・中途失聴者団体連合会に連絡したが、それも十分ではなかった。

私達は困ったことがあると、いつもホストファミリーに相談しているのだが、ホストファミリーのお母さんは区役所に行つて、私に聴覚障害であるということで、障害手帳の交付をお願いしてくれた。その手帳によって新しい補聴器、交通割引、ファクス機の提供など多くの助けと、子ども達の保育園入園など仙台市から助けてもらうことができた。

私達はホストファミリーにととても感謝している。

読唇術と手話と漢字と...

2000年4月に、私はベビーシッターのある東北大学国際交流会館の日本語クラスに入った。特に、このクラスでは日本語のLip reading (読唇術) と簡単な日本語を勉強した。夫も、私が日本語を学ぶことを助けてくれた。

二番目の子の出産などで日本語の勉強が続けられなかったが、遂に、MIA (宮城県国際交流協会) の日本語クラスで勉強することができた。それは非常に速くて良いクラスだった。先生方は私をととても励まし、特別な注意を払ってくれた。耳の障



害は、特に発音と聞き取りに問題があるので、いつも言ったことばを書いてもらった。しかし、そのころ、二人の子どもが入院したため、私は規則的に出席することができなくなった。私はそれが非常に残念だったが、子ども達が元気になって、今また日本語と手話を勉強している。

子ども達も大きくなり、また民間アパートは学生にとって家賃が非常に高かったので、私達は、郊外の市営住宅に引っ越した。しかし、子ども達が中心部の保育園に行っていたので、私は、毎日子ども達を保育園に連れて行き、中心部の市民センターで日本語の勉強し、近くの図書館で勉強し、子ども達を迎えに行く。漢字の勉強も、難しくて、日本語を理解するのにどのぐらい時間がかかるのかわからない。

未来に役立つ何かを!

障害を持っている私の未来に役に立つ何かを学びたい、と思っている。私が手話クラスに行き始めて、耳が聞こえない多くの人々との出会いがあった。かなりの教育を受けていて、お花を生けたり、ピアノを弾いたり、専門的な分野で活躍している人達の様子を見て、私はとても驚いた。彼らと話す時には、彼らに障害があるとは想像できない。日本では、障害を持った人がいろいろな勉強をして社会の中で暮らしていることを知った。私は日本に在る間にいろいろ勉強をして、ネパールに帰ったときに、ネパールの人達の役に立ちたい、と思った。

私は耳が聞こえないので、その人達のために何か社会事業をしたいという夢を持っている。私の問題を本当に理解し、私の目的を達成することを手助けしてくれる人々を探している。

ニータ・バタライ

ネパール、カトマンズ生まれ。1999年11月夫の留学のため来日。

夫と二人の子どもと仙台に住む。

あちこち日本語ご紹介

国内編



秋田県
横手市

8年目の日本語教室-新しい体制で新たな出発

横手日本語教室 主任講師

鈴木恵理子

平成6年に教会から始まった横手の教室

横手市に初めて日本語教室ができたのは平成6年でした。フィリピン人4名、中国人1名の学習者にボランティア8名ほどが交代で託児係と教師を担当し週1回教会で教えていました。平成7年、県が地域の日本語教室を県内8カ所につくる事業が始まり、行政運営の教室ができ、私は講師に採用されました。県主催の教室は6年で終了し、以後平成13年から現在まで横手市主催となりました。

教室は毎週1回原則として火曜日午前10時から12時まで広域交流センターで開催されています。市主催ですが近辺の他町村からの受講希望者も受け入れています。教科書は「かな入門」「みんなの日本語初級Ⅰ、Ⅱ」で、全部で6クラス、受講者は、日本人の配偶者とその連れ子・研修生・個人的な理由で家族で来日している人などです。

最初の年は受講者が1人しかいないこともあり悩みでしたが、教室の問題も時代とともに変わってきました。平成14年度の登録者数は36名でしたが、実際参加したのはその半分くらいでした。というのも入校しても「仕事が見つかったから」とすぐ辞めたり、連絡もなしに辞めたりということがあったからです。



ボランティア6人に、中国、フィリピン、アメリカ、韓国などいろいろな国からの学習者が集まる

また随時入室受付していたためレベル別の授業が成立しなくなっていました。無断でずっと休んでいたかと思うと突然来たり、友達を連れてきて同じクラスにするよう指示したり。果ては教室に通っているふりをして遊んでいるのを家族も知らなかったり、等等。これでは受け入れるこちらにも困るし、今後日本で暮らしていくであろう本人達にとってもよくないということで、受講するにあたっての意識啓発が必要と感じ、今年度からシステムを変更することにしました。

新しい体制に変更して

安易に受講を決め安易に辞めることへの対応策として新しい体制を考えました。例えば日本人と結婚した外国からの主婦の場合は、今までは受講者本人が友人や結婚紹介業者に連れられてくるケースが多かったのですが、まず配偶者がかかわるべきであろうということで受講希望時に市担当者が本人と配偶者を面接し一定期間（6カ月）継続して受講できることを条件としました。

昨年度まで受講料は無料でしたが、それが安易な受講につながることも考えられたので、コピー代等の実費として月500円を半年分前納していただくことにしました。受講受付は原則として前期は4月、後期は10月で、4月と10月はひらがなから始める初級クラスを設けています。「初級Ⅰ、Ⅱ」を終えると卒業です。

また、年6回ほど夜間の教室を設け夜7時から別室で配偶者の方たちが日頃の悩み事を話す場が設けられています。本当はこれから国際結婚しようとしている方達にこそそういう場が必要だなと思います。



スポーツ交流会の後の「いものこ汁」も楽しみ

この新しい体制になって、以前自由に出入りしていた人達は不満があるようですが、税金を使って運営する教室は日本語習得を第一目標としたきちんとしたものであるべきだと思います。でもどんな体制でも8年も続いてきたのはすばらしいスタッフと理解ある行政担当者のおかげだと感謝しています。

地域の在住外国人が珍しくなくなった今、各方面で各々課題があると思います。行政には在住外国人が住民として必要な情報や支援を彼らの目線に立った適切な方法で提供することが、私達日本人には、いろいろな意味で彼らを特別視しないことが、そして在住外国人には、彼らが日本で自立して生活していくための第一歩である日本語の習得が、課題としてあげられると思います。この3つが有効に機能するために日本語教室がどう関わっていけばいいのかを考えていかなければならないと思っています。



2003年3月。「初級Ⅱ」を修了した3人の卒業生と日本語ボランティア（前列左から3番目が筆者）

あちこち日本語ご紹介

海外編



チェコ共和国
プラハ

チェコの日本語教育—武道を愛する人たち

日本語講師

土井みつる

発展するチェコ経済と日本の関係

地図を見ていただくとよくわかりますが、中欧の国チェコ共和国は、文字通りヨーロッパの中心部に位置しています。この地理的理由のために、チェコは昔から政治、経済、文化、宗教などの十字路となり、様々なものが入り込んできました。1989年のベルリンの壁崩壊による民主化以降は、外国資本の流入が相次ぎ、経済発展を続けています。今年はずいにEUにも加盟することになりました。

もともと高い技術力を有していた国なので、それに着目しチェコに参入する日本企業も増え続けています。去年チェコに事務所をおく日本企業の数、130社を超えました。実は投資額の面では、今では2、3位のドイツ、オランダを抜いて、日本が世界一になりました。また、「百塔の街」と呼ばれる美しい古都プラハには、この1年で日本から12万人以上の観光客が訪れたそうです。

こちらに暮していると、年々日本とチェコの結びつきが強まっていくのを実感します。

流暢な日本語話者から年少者まで

このようなチェコで日本語を学習しているチェコ人の数を数えてみましょう。2002年の国際交流基金の派遣専門家ネットワーク会議によると、その数は260人（教育機関に属している人の数）と報告されています。青年海外協力隊が派遣されていないこともあり、あまり多いとは言えませんが、プラハのカレル大学とチェコ東部の街オロモウツのパラツキー大学では、日本語を専攻で勉強することができます。両大学の卒業生は流暢な日本語を操り、通訳、翻訳、ガイドなどで活躍する人が何人もいます。また、その

他の主な日本語教育機関としてプラハ市立言語学校があります。この言語学校は国家試験を実施していますが、そのいちばん上のレベルの試験は、通訳翻訳の認定試験として価値があり、大学卒業資格の代わりに、履歴書に書き添えると有効なものです。

また、数は少ないのですが、日本語のクラスを開設している高校もあり、年少者に対する日本語教育の広がりにも期待できます。

さて、そもそもチェコの人達が日本語に興味を持つきっかけは何でしょうか。調査によると、日本語学習開始時の興味は、茶道、華道、能、歌舞伎など伝統芸能の芸術的関心がいちばん高く、それに文学、スポーツと続いています。

二人の武道家

ここで日本語を勉強しているお二人のチェコ人、ヤロスロフ・ボジーズさんとフィリップ・ハーシャさんを紹介しましょう。お二人とも武道を通じて日本語の勉強を始めました。

チェコではちょっとした有名人であるヤロスロフ・ボジーズさんは、チェコの経済新聞の副編集長でありながら、チェコ相撲協会の会長であり、昨年のチェコ相撲チャンピオン、中央ヨーロッパ相撲チャンピオンという武道家です。実は、日本の鳴門部屋に入門したチェコ人力士の隆の山は、彼の教え子です。多忙な本業の傍らボジーズさんは、ほとんど毎日相撲の稽古をしているそうです。日本を頻繁に訪れ、その度にいくつかの部屋に稽古に出向いています。相撲の魅力を「相撲はただのスポーツではなく人生の理想像」と語るボジーズさんは、日本人



相撲チャンピオン、ヤロスロフ・ボジーズさん（左）合気道の道場に通うフィリップ・ハーシャさん（右、中央）

の「がまん（辛抱）する精神」に共感するのだそうです。2年前からある時は独学で、ある時はプライベートレッスンで日本語の勉強を続け、日本語もかなり上達してきています。「日本語の勉強」は、「相撲の勉強」のためと、目的は明確です。

フィリップ・ハーシャさんは、コンピュータ関係の仕事をしていますが、子供の頃、黒沢明の映画を見て「武士道」を知りました。今どきの青年らしく、北野武や宮崎駿の映画やアニメーション、日本のポップスにも興味を持っています。一度来日しましたが、古い日本も新しい日本も両方好きだと言います。2年前から合気道の道場に通い、将来は大学の交換留学生として日本にもう一度行きたいと言っています。

今は、日本人の友人との交流と、ボランティアから日本語を教えられることで、日本語の勉強をしています。

この二人は日本語学習者の調査の数字には表れてこない学習者ですが、チェコと日本の経済的、文化的交流が盛んになってきた現在、実はこのような学習者も増えていくのではないかと思います。

教材紹介

『みんなの日本語初級Ⅰ 聴解タスク25』

『こどものにほんご1 絵カード』

『みんなの日本語初級Ⅰ 漢字練習帳』

『Now You're Talking! -Japanese Conversation for Beginners 日本語20時間』



『みんなの日本語初級Ⅰ 聴解タスク25』

(財)海外技術者研修協会 非常勤講師 牧野昭子

外国語を学習する目的は人それぞれに違いますが、多くの人にとっては、やはり、そのことばを使って自由にコミュニケーションでできることではないでしょうか。ことばをやり取りし、互いに理解しあうこと。それに欠かせないのは「聞き、話す」力です。

ところで、聞くことと話すことと、どちらが難しいと聞かれたら？まるで、耳と口とどちらが大切、と聞かれているみたいです。でも、外国へ行って、どうにか自分の意志が伝えられても、相手の言うことがさっぱりわからなかったという経験は誰にもあるはずです。

「聴解タスク25」は初級レベルの学習者が楽しみながら、聞く力を無理なく伸ばすために作られました。情報を聞き取って判断や決定をする、すなわち、目的を持って聞くというタスク中心の聞き取り練習をできるだけ盛り込んで、初級から多様な聞き方に慣れていくことを目指しています。この教材の特色は以下のようなものです。

1. 「みんなの日本語初級Ⅰ」の学習項目ごとに聞き取り練習ができます。問題で扱われている新文型はひとつだけで、語彙もほとんど既習のものに限っています。ですから、各課の内容が全部終わらなくても、項目ごとに確認作業や宿題に使うことができます。
2. 「みんなの日本語初級Ⅰ」の聞き取り問題とは違った、様々な聞き取りタスクができます。受動的な聞き方から能動的な聞き方へ、多様なスキルが身につきます。

3. 聞き取る会話は学習者が当事者になって聞けるような状況や場面を設定しました。したがって、発話練習や会話練習のモデルにも使えます。
4. 会話だけでなく、説明や報告を聞くタスクもあります。まとめた情報を聞き取る力を開発し、中級への足がかりとします。
5. 内容は聞いて面白く、楽しめるだけでなく、初級レベルでも、ディスカッションやプレゼンテーションなどの教室活動に発展できるテーマが数多くあります。
6. イラストを多用して、わかりやすさと視覚的な楽しさを盛り込んで、文字学習が進まない段階からでも使えるように工夫しました。
7. CDの音声はできる限り自然な発音、アクセント、イントネーションで収録されていますから、聞き取りを続けるうちに、発音や話し方が改善されるという効果もあります。

この「聴解タスク25」が、聞き取り練習が楽しいという学習者を数多く生み出す手助けとなれば、幸いです。

みんなの日本語初級Ⅰ 聴解タスク25

B5判 本体60頁、別冊60頁、CD2枚付
2,000円
著者：牧野昭子、田中よね、北川逸子



『こどものにほんご1 絵カード』

本書は「こどものにほんご1」に準拠した絵カードです。登場人物(13枚)動詞49語(47枚)、形容詞53語(37枚)を子どもを主人公にしたイラストで表し、クラス、個人授業で使いやすいカードにしました。

こどものにほんご1 絵カード

B5判 104頁 1,600円
著者：ひょうご日本語教師連絡会議
子どもの日本語研究会



スリーエーネットワーク教材開発部



イラスト① 動詞1 行きます
イラスト② 形容詞31 楽しい

みんなの日本語初級 I 漢字練習帳

B 5 判 114頁 900円
編著：東京国際日本語学院



Now You're Talking! - Japanese Conversation for Beginners 日本語20時間

B 5 判 150頁 CD 1 枚付 1,900円
著者：日米会話学院
宮崎道子・郷司幸子



『みんなの日本語初級 I 漢字練習帳』

東京国際日本語学院 教務主任 綾部眞弓

「みんなの日本語初級」を使って日本語の指導をしている現場の教師から、教科書の進度に合わせ、段階的に漢字が指導できる教材が長く望まれていました。この漢字練習帳は、そのような要望に応え、「みんなの日本語初級」と併用することで、文法力、語彙力と共に十分な漢字力の向上がはかれることを念頭において作成されました。

各課はその課で学ぶ文型を軸に、それまでに出ている既習の語彙を提出しているため、進度に沿って、無理なく、しかも確実に漢字力を身につけることができます。

本教材で採用した漢字の総数は218（一から十を含む）で、これらは日本語能力試験出題基準のレベル（4級、3級、一部2級）を考慮しながら、使用頻度の高い順に提出してあります。

構成と特色

2課ごとに漢字シート、読み練習、書き練習と、6～7課ごとに復習テスト、最後にまとめテストがあり、これらは1枚ずつ切り離して使用することができるので、進度に合わせて配布したり、宿題や、テストとしても活用が可能です。巻末には助数詞表、索引、解答があります。

- ・漢字シート：各課に新出漢字16字と音・訓欄があり、音・訓に関

しては巻末の索引を参考に学生のレベルに応じて選択し、指導をしてください。

- ・読み練習、書き練習：その課で学習する文型を中心に、既習の文型や語彙を提出してあるので復習も兼ね、より定着を図ることができます。
- ・復習テスト、まとめテスト：定着度の確認ができ、予めこの部分だけ取り外しておく、テストとしても使用できます。
- ・助数詞表：円、時、月、日、人等の数の読み方の一覧表です。
- ・索引：本書に収録した漢字を音読みの五十音順に並べ、日本語能力試験出題基準の級、新出課、読み(音訓)、ページを記載してあります。
- ・解答：別冊になっています。

本書は当学院教師の室岡由美、山田純子、細井陽子を中心に現場教師の意見を参考に、「みんなの日本語初級 I・II」を1冊にまとめて作成しました。さらに金瀬真知子も加わり、より本冊に準拠するように検討を重ね、漢字、語彙をより一層充実させるべく分冊とし、再編集したものです。この教材を使用することにより、漢字力、ひいては初級の総合力アップに役立てば幸いです。

『Now You're Talking! -Japanese Conversation for Beginners 日本語20時間』

日米会話学院 教務主任 宮崎道子

日本語に初めて接する外国人が勉強を始めて、先ず躓くのがひらがな、カタカナ、そして洪水のような文型の数々。

全く言語体系の異なる学習者は戸惑い、未消化のまま先に進んでしまうケースがよくあります。そして数週間たっても日本人の言うことがよくわからないし、日本語を使って自分の目的を達することもできないと訴えてくる人も少なくありません。本書はこういうケースを解消するために作った入門用の実用的な会話の本です。

本書の特色

- ・学習者の負担が少ない。

文法項目が場面会話の中で必要なもののみに限られているので、学習者に余分な負担がかかりません。イラストによる導入、練習は楽しく活気あるクラス作業が行えます。又、会話もドリルも全てCDに録音されているので独習も容易にできます。

- ・イラストによる対話形式ドリル

ドリルは文字を極力少なくし、場面をイラスト化しています。視覚で

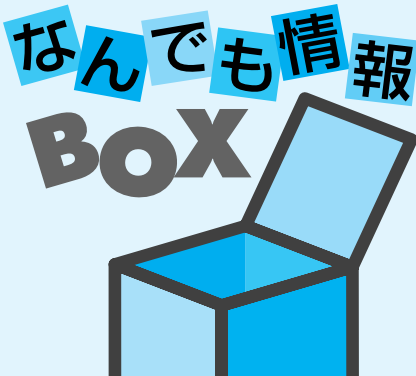
状況を把握してから対話形式の練習をするので会話力がアップします。

- ・初日から話せる短期即成

習った場面の会話がそのまま実際の場面で使えるので、勉強を始めたその日から日本語でコミュニケーションがとれるという画期的なテキストです。外でそのまま使えることで学習者のモチベーションが高まります。



第5課 ちゅうもん (いさかやで)



セミナー

SEMINARS

●『みんなの日本語初級』の教え方講座

当社主催の『みんなの日本語初級』の教え方講座は3~4月に大阪、東京で開催予定です。予定は下記の通りですが、日程等変更の場合もございますので、詳しくは講座係までお問合せください。

●『みんなの日本語初級Ⅱ』の教え方・大阪会場

26課~50課までを、全8回(1回:2時間半、計20時間)に分け、毎回の参加も可能です。

日時: 3月13日(土) A 10:30~13:00 B 14:00~16:30
3月14日(日) C 10:30~13:00 D 14:00~16:30
3月20日(土) E 10:30~13:00 F 14:00~16:30
3月21日(日) G 10:30~13:00 H 14:00~16:30
* 日程は変更される場合がございます。

講師: 田中よね、牧野昭子他

費用: 全8回: 30,000円(1回: 3,750円)

会場: AOTS 関西研修センター

(講座参加者は宿泊可能です。お問合せ下さい)

定員: 各回20名(8名より開講)

主催: スリーエーネットワーク

協力: (財) 海外技術者研修協会

●初心者のための『みんなの日本語初級Ⅰ、Ⅱ』の教え方・東京会場

内容: ①『みんなの日本語初級Ⅰ』

②『みんなの日本語初級Ⅱ』

* ①②各計10時間

日時: ① 3月27日(土) 10:30~13:00、14:00~16:30
3月28日(日) 10:30~13:00、14:00~16:30
② 4月3日(土) 10:30~13:00、14:00~16:30
4月4日(日) 10:30~13:00、14:00~16:30

会場: AOTS 東京研修センター

(講座参加者は宿泊可能です。お問合せ下さい)

講師: 八重島炎(スリーエーネットワーク日本語講師)

定員: 20名(8名より開講)

費用: ①②各15,000円

主催: スリーエーネットワーク

協力: (財) 海外技術者研修協会

問合せ/申込み先: スリーエーネットワーク講座係

〒101-0064 東京都千代田区猿楽町2-6-3松栄ビル

TEL: 03-3292-6410 FAX: 03-3292-6197

E-mail: ja-net@3anet.co.jp

ほん

BOOKS

みんなの日本語初級Ⅰ

本誌に表示した価格は税別です。

聴解タスク25

発売中 2,000円

漢字練習帳

発売中 900円

みんなの日本語初級Ⅰ・Ⅱ

CD

2月発売予定 各5,000円

ご要望にお応えて「みんなの日本語初級」CDを発売します。各4枚セットで、内容は現在発売中のカセットテープと同一です。(日本語のみで収録されています)

新日本語の中級会話場面・語彙イラストシート 発売中 1,800円

新日本語の中級会話ビデオ 2月発売予定 予価: 10,000円

新日本語の中級会話DVD 2月発売予定 予価: 13,000円

「新日本語の中級本冊」の会話を映像化したものです。会話の場面・状況が映像で示されることで各課の会話の導入がスムーズになり、映像に収められた様々な情報が、教室での活動の展開をより活発にします。収録時間: 67分

日本語文法演習 話し手の気持ちを表す表現-モダリティ・終助詞-

発売中 1,300円

完全マスター漢字日本語能力試験1級レベル 発売中 1,200円

Now You're Talking! -Japanese Conversation for Beginners 日本語20時間

発売中 1,900円

こどものにほんご1 絵カード

発売中 1,600円

コミュニケーションのための日本語発音レッスン

2月発売予定 3,000円

聞き手にとってわかりやすく、内容が伝わる話し方ができるようになるための発音練習用テキスト。ロールプレイやタスクの活用など、発音を楽しく学ぶための工夫が随所に施されています。教師用指導書、CD2枚付。

通訳メソッドを応用した中国語短文会話800 3月発売予定 2,200円

通訳訓練メソッドを使って、中国語の会話力を向上させる独習教材。リピート、シャドウイング、逐語訳、同時訳練習により、中国語の語速、語調、語感を訓練し、速く滑らかに話せるようになります。CD2枚付。

お知らせ

INFORMATION

●「みんなの日本語初級Ⅰ」語彙配布のお知らせ

* 配布価格: 800円 * 装丁: B5判、56頁

* 書店では取り扱っておりません。

* 配布中...中国語繁体字、イタリア語、ビルマ語
フィリピン語、グルジア語、モンゴル語

* 2004年配布予定...ベトナム語、トルコ語、シンハラ語

●スリーエーネットワーク創立30周年記念フォーラム

「とばと学び昨日・今・明日」報告書配布のお知らせ
昨年8月22日に開催したフォーラムの報告書が完成しました。ご希望の方は、お名前、送付先のご住所を明記の上、送料として160円分の切手を下記までお送りください(在庫切れ等で、配布を終了させて頂く場合もございます。ご了承ください)。

問合せ/申込み先: スリーエーネットワーク企画室

〒101-0064 東京都千代田区猿楽町2-6-3松栄ビル

TEL: 03-3292-6410 FAX: 03-3292-6197

●皆様からの投稿や各コラムへのご質問、ご意見等をお待ちしております。採用させて頂いた方には粗品を進呈いたします。また本誌をご希望の方は、お名前、ご住所、所属をFAX等で編集室までお知らせください。無料でお送りいたします(国内のみとさせて頂きます)。『Ja-Net』第29号は4月25日発行予定です。

●(株)スリーエーネットワーク教材開発部委員募集要項

- 職務内容: 日本語教材の編集および企画(経験不問)
- 応募資格:
 - ①日本語教育学、日本語学もしくはその関連分野の教育を受けた者: 大学院修士課程修了、学部主専攻または副専攻課程卒業、420時間以上の日本語教師養成コース修了など
 - ②日本語教育経験者: 2年以上の経験があることが望ましい
 - ③年齢: 30歳くらいまでが望ましい
- 採用予定月: 2004年4月1日
- 待遇: 正社員として採用
給与: 当社規定による、賞与有
勤務時間: 月~金 9:00~17:15
通勤手当支給、社会保険完備
休み: 土日、祝日、年末年始
- 提出書類: 履歴書、
作文「応募の動機」(1000字程度)
- 応募締切: 2004年2月末日(必着)
- 選考方法: 書類選考後、面接を行う(日時は追って通知)。場合により筆記試験。
- 書類提出先:

〒101-0064 東京都千代田区猿楽町2-6-3松栄ビル
(株)スリーエーネットワーク 総務部
(封筒表に「応募書類」と朱書きのこと)
- 問合せ先: 総務部 堀内享子
e-mail: soumu@3anet.co.jp

Ja-Net 季刊ジャネット No.28

スリーエーネットワークという社名は、アジア(Asia)、アフリカ(Africa)、ラテン・アメリカ(Latin America)のいわゆる発展途上国の多くが存在する3つの地域をネットワークでつなぎ、相互理解と友好の促進を図ろうという趣旨をシンボライズしています。

2004年1月25日発行

●発行人 藤野政子

●発行所 (株)スリーエーネットワーク

〒101-0064 東京都千代田区猿楽町2-6-3 松栄ビル

Ja-Net編集室 TEL 03-3292-6410 FAX 03-3292-6197

営業部 TEL 03-3292-5751 FAX 03-3292-6195

http://www.3anet.co.jp E-mail: ja-net@3anet.co.jp

日本印刷(株)

© 2004 by 3A Corporation Printed in Japan (禁無断転載)